

## 厚生労働省行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

### 1. 日 時

平成 28 年 5 月 10 日（火）10：00～11：50

### 2. 場 所

厚生労働省専用第 14 会議室

### 3. 出 席 者

外部有識者：井出委員、大屋委員、河村委員、栗原委員、佐藤委員、増田委員、  
横田委員

厚生労働省：大臣官房会計課長、会計企画官

### 4. 議 事 内 容

#### （議題）平成 28 年度公開プロセス対象事業の選定

厚生労働省から公開プロセス対象事業候補の選定の考え方、選定の対象となっている 14 事業について、事業概要、選定理由及び想定される論点の説明があり、外部有識者からの意見交換後、投票および議論の結果、以下の 7 事業が今年度の公開プロセス対象事業として選定され、了承された。

- ・ 救急患者の受入体制の充実
- ・ 医療経済実態等調査費
- ・ 健康増進事業（健康相談等）
- ・ 建設労働者確保育成助成金
- ・ 認定職業訓練助成事業費
- ・ ねんきん定期便
- ・ 高齢者権利擁護等推進事業

なお、外部有識者からの主なコメントは次のとおり。

- 事業によっては執行率が低いものが散見される。事業の性質や、実施の手法に問題がないかも含め考えなくてはならないのではないか
- 公開プロセスは予算削減だけではなく、外部有識者が多角的な視点から事業改善に向けた有用なアイデアを行政側に与えられるものが望ましい

- 公開プロセスに向けて、対象事業が当該事業を含む施策分野の全体の中のどのような位置づけにあるか、事前勉強会・公開プロセスの場で説明してほしい
- 執行率が低い事業のうち、具体的にどの部分の執行率が高く、どの部分の執行率が低いのがわかるようにしてほしい
- 選定事業だけでなく他の事業に波及してそれぞれの事業改善に向けたきっかけを与えられるものを選定すべき
- 事業規模は小さくても全体施策の中で重要な位置づけのものであり、横展開・他の事業の見直しへの波及が見込めるものは選定すべき
- 経済財政諮問会議の経済・財政再生アクション・プログラムは社会保障関連事業が大きなウエイトを占めているので関係を意識して事業を選定すべき
- 出口が見えているものはそれぞれの省庁において改善を行えばよく、出口が見えないものこそ公開プロセスで議論すべき
- 公開プロセスで取り上げるということは、中立な第三者がオープンな場で話し合った結果を世の中に示し、国民の間に問題意識を醸成し、議論の喚起を促すという意味もあるのではないか
- 27年度に統合した事業について、特別な事情により議論のための適切な資料を用意できない場合には、資料が整い次第、公開プロセスの場で議論を行うのがよい